

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.07.01)

文：武田、写真：山 國、内海、山田

日時：2021(令和3)年 7月1日(木) 9:30～15:00

気象：曇り(22℃)

活動エリア：44林班い・ろ、は-02

活動内容：作業道開設のルート延伸確定、自然歩道整備、水源1付近の溪流補修

参加者：石原順子、内海宏一、斧田一陽、小櫃徹夫、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山 國

会員9名

<明日は「半夏生」>

田植えを終える時期だそうで、また、この頃に降る雨を「半夏雨(ハツゲアメ)」と言い、大雨になることが多いとされている。予報は雨模様、時々パラついた様でもあり、水源①の溪の上部は霏がかり、スマホの雲画像をチェックしながらの作業。涼しかったのが「何より」。

作業道ルートの調査は概ね平坦地だが、ラストの前方、下りに入る辺りの倒木は通り易くする為にも今少し処理が必要だろう。また、自然歩道の水切り溝は総て埋まっていて、落ち葉に表土、礫と堆積物は混在。一々掘り戻していく。木段は流下した表土が被さってまるで「坂道」。

水源①の溪流は普段は伏流水だが、雨が續くと溪を挟る。玉切りした倒木を杭留めし、護岸を築いていく。なお上手には先日玉切りした 30cm 超の材がゴロゴロ、これを溪の流路修復にどう役立てていくか、大きな宿題。

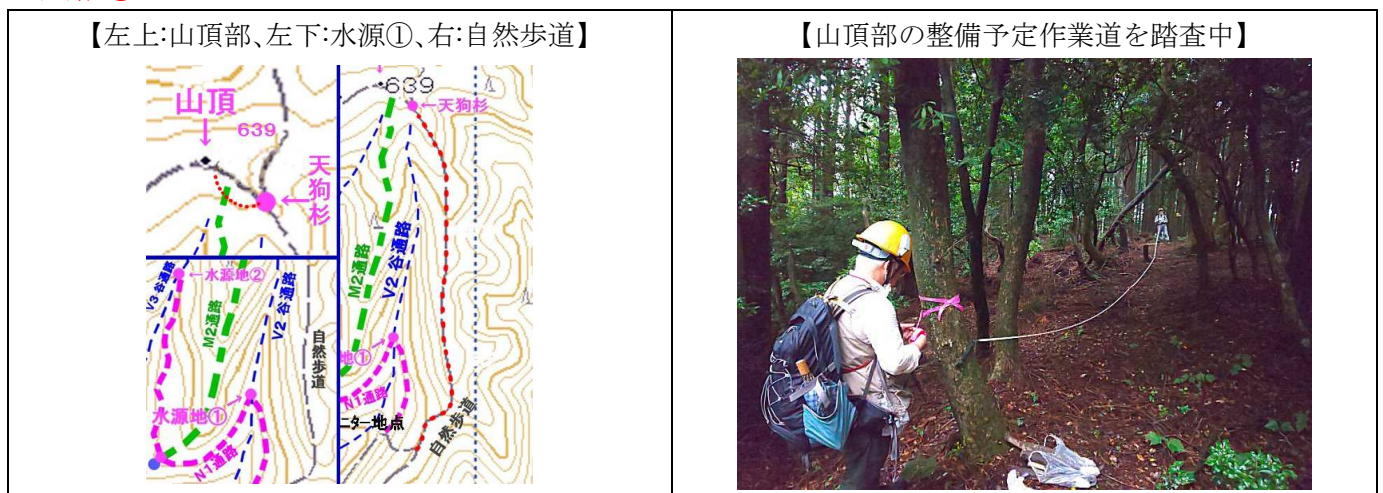
(閑話休題)大阪では降雨あり。翌々日には関東に移った降水帯が熱海の土石流など、各地に水害を惹起した。(森林づくりが大切な由縁)

なお、半夏生にタコを食べるのは近畿が発祥。たこ焼きにタコのお好み焼と「蛸半夏生キャンペーン」もやっています。

<今日の成果>

作業道は新たに 64m を確定(6/24 と合算して径 300m)。自然歩道の水切り溝や木段の堆積物は概ね復旧。水源1付近の溪流補修は兩岸の土留めを約 7m 構築。

<写真編①>

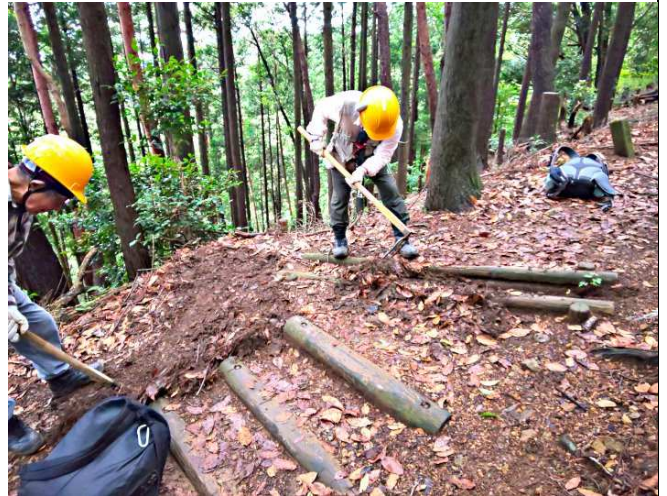


<写真編②>

【64m 地点の標識杭打ち】



【溝の掘り起しと木段の整備(自然歩道)】



【溪流の護岸を築く】



【玉切り材も活用】



【集まった溪の水は下の谷に落ちる、橋は新設】



【亀のような舞茸？】

